

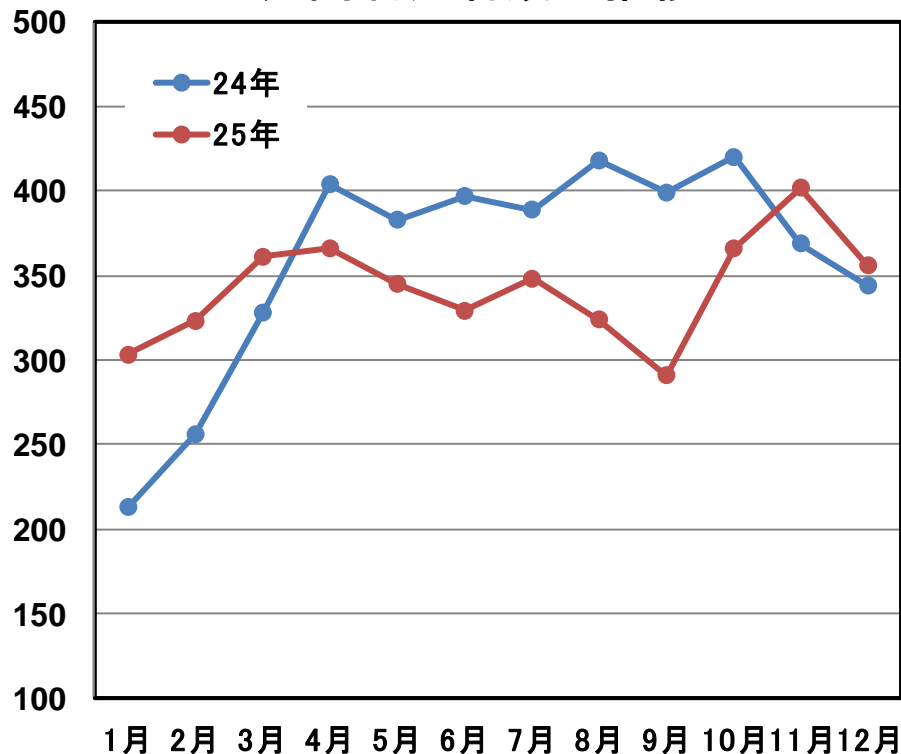
平成25年度 第2回高梁市地域公共交通会議

- ◆備中ふれあいタクシー利用状況
- ◆公共交通在り方検討チーム検討状況
- ◆川上地域交通再編について
- ◆巨瀬・川面・中井地域公共交通再編について
- ◆26年度事業計画・スケジュール（案）

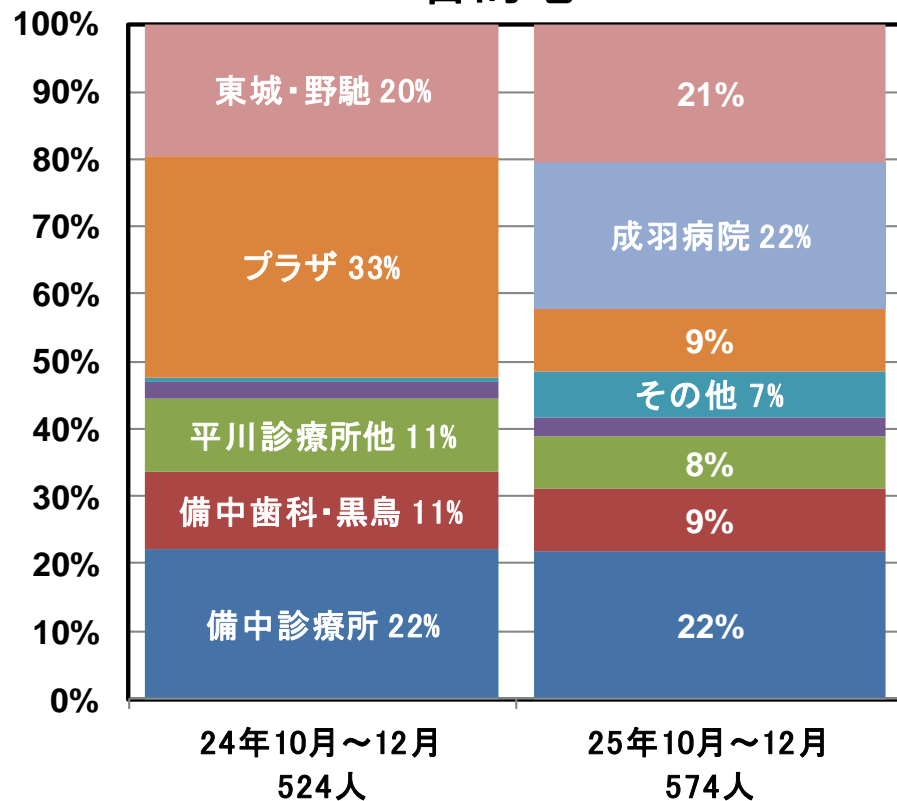
1. 備中ふれあいタクシー利用状況

- 月間延べ利用者数は、4月以降前年を下回っていたが、10月からの成羽病院まで路線延長により10月、11月と増加に転じ、11月、12月は前年を上回る。
- 10月からの路線延長後も、利用目的地構成は、前年同期とほぼ同じ。

月間利用者数の推移



目的地



2. 公共交通在り方検討チーム検討状況

(1) チームの概要

チームの設置目的

- ◆ 公共交通主管課以外の関係課が所管する公共交通に関わる施策や、その問題点等を把握し、交通施策の実効性を向上
 - 公共交通施策と関連施策との整合性の確認
 - まちづくり(各課施策)の視点から公共交通の検討
- ◆ 持続可能な公共交通再編と関連支出の総括的な見直し
 - スクールバス混乗化の検討
 - 低利用路線への対応

構成メンバー

市民生活部長、秘書政策課、産業振興課、定住対策課、地域局(有漢、成羽、川上、備中)、福祉課、学校教育課、政策監(顧問)、市民課(事務局)

(2) 各所属における公共交通関連施策の課題等と今後の方向性

課・教委	問題点・課題・その他	今後の方向性
秘書政策課	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通情報の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙等による公共交通情報の周知
産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 買物難民対策 吹屋直行ボンネットバス運行ダイヤの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 移動販売事業の推進 利用者意識調査・分析を踏まえて検討
定住対策課	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進の観点からの求められる公共交通の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズの把握と支援制度等の検討 住民主体の公共交通構築の支援
福祉課	<ul style="list-style-type: none"> バス・タクシー券制度終了後の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 当面は継続し、新たな制度を検討
学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスへの混乗要望対応 低利用便の減便に伴う学校行事、自然災害時等の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 国のスクールバス交付税制度を踏まえて継続検討 臨時便の運行等対策を検討

(2) 各所属における公共交通関連施策の課題等と今後の方向性

課・教委	問題点・課題・その他	今後の方向性
市民課	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減少と増大する路線バス補助金の見直し ・交通空白地域の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者との定期的な意見交換会開催し、補助金の見直しを検討 ・高梁地域を起終点とする路線バスについて、他の交通手段(生活福祉バス、デマンドタクシー等)への転換検討
有漢	<ul style="list-style-type: none"> ・本格運行に至らなかったデマンドタクシー以後の手当て 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地域の解消に合わせたデマンドタクシーの再検討
成羽	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科目の診察曜日に合わせた生活福祉バス運行 ・自然災害時の運休連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日運行のない日について実績払いのデマンドタクシー運行を検討 ・運行事業者から地域局への連絡要請。CATVによる周知を検討
川上	<ul style="list-style-type: none"> ・川上ふれあいタクシーの利用促進 ・高梁-井原線と生活福祉バス光松線の重複運行の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域局として主管課をサポート ・高梁-井原線は、高梁-地頭へ路線を短縮を検討
備中	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用の少ない生活福祉バスのスクールバス化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉バスとして維持し、学校に合わせて季節ダイヤを細かく設定

(3) 持続可能な公共交通に向けた基本的な考え方

地域の状況変化に柔軟に対応できる公共交通

旧高梁市地域を起終点とする4条路線は、運行業者と定期的に協議を行い、可能なところから市が所管する生活福祉バスに切り替えを検討する。その際、沿線地域の状況や利用者ニーズに応じてダイヤ、運行ルート、運行形態などを見直すとともに、地域状況の変化等に応じて、デマンド化の検討も含め、柔軟に対応できるように体制を整える。

利用に応じた運行形態への転換

朝夕の便に関しては、通学を優先し、ダイヤを見直すとともに、主に高齢者等が通院・買物に利用している昼間の便については、利用状況に応じて曜日運行や乗合タクシー等へ切り替える。

時間帯別運行イメージ

	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
主 対 象	通学・通勤		通院・買物						通学・通勤					
運 行 形 態	定時・定路		デマンド・区域						定時・定路線					
運 行 日	毎日		曜日運行（週2～3日）						毎日、月～土、月～金					
運 行 便 数	1便		行き1便、帰り1～2便						2～3便					

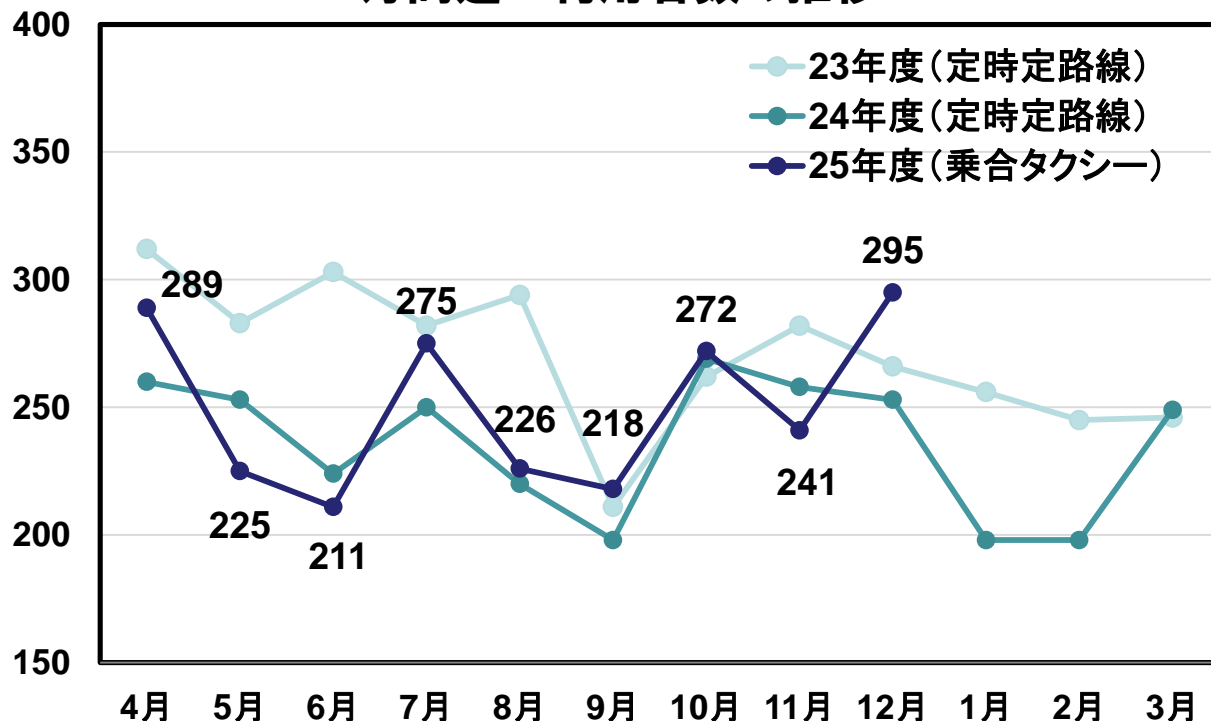
3. 川上地域交通再編について

(1) 川上ふれあいタクシー実証運行利用状況

延べ利用者数・利用世帯数

- 25年4月～12月の延べ利用者数は、2,252人(前年同期比+16%)と増加。
- 利用世帯数は、12月末現在で132世帯(6月末比36世帯増)。
- 12月の増加要因のひとつとして、民生委員による周知・利用促進活動(高齢者世帯移動手段調査に合わせて11月に実施)が考えられる。

月間延べ利用者数の推移



利用世帯数

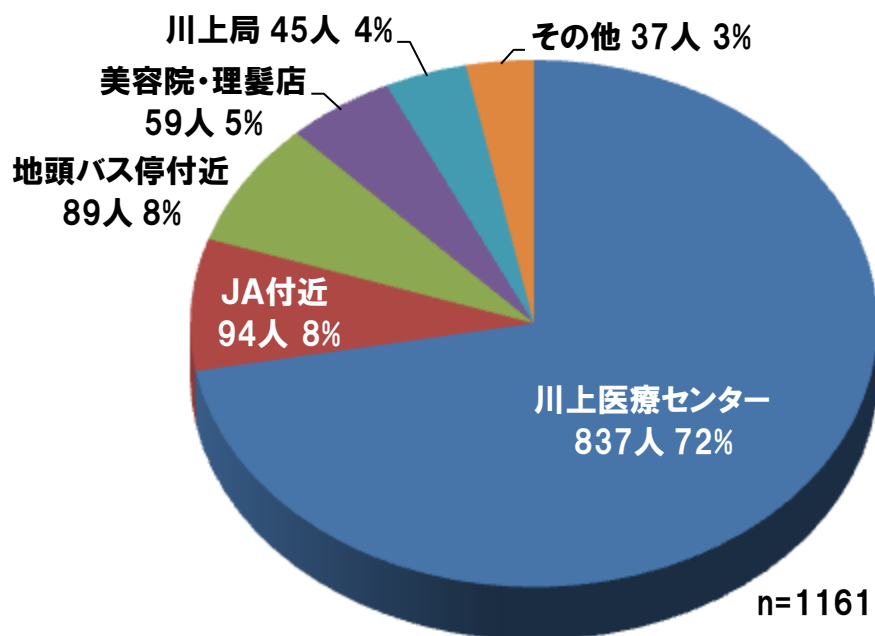
路線	6月末	12月末
北部線	49	64
南部線	47	68
合計	96	132

(1) 川上ふれあいタクシー実証運行利用状況

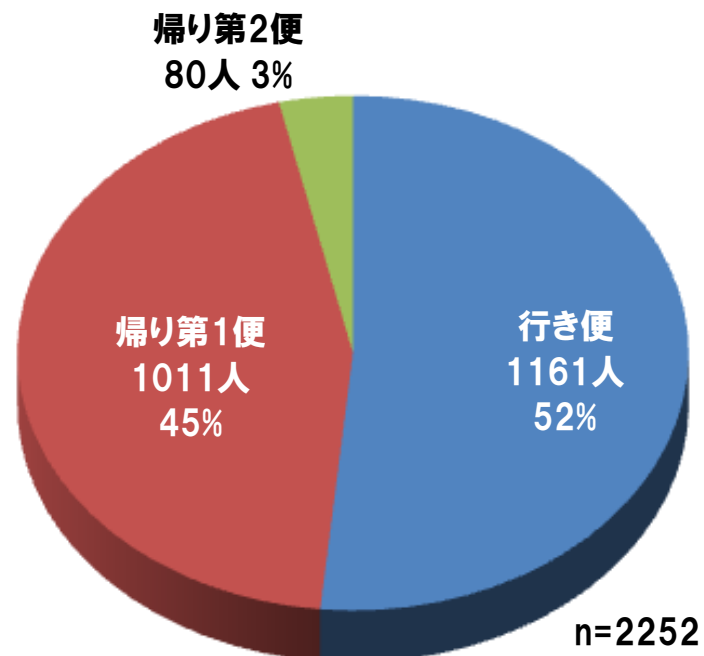
目的地・利用便

- 川上医療センターへの通院が7割強を占める。
- 帰り便第2便の利用は、7月以降も伸びず、3%に止まる

目的地



利用便

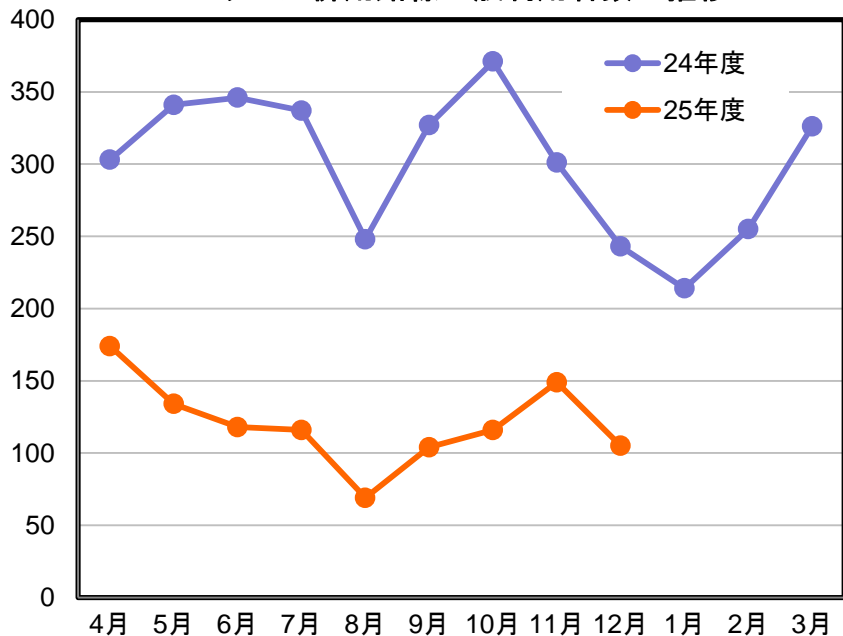


(2) 生活福祉バス（スクール併用路線）利用状況

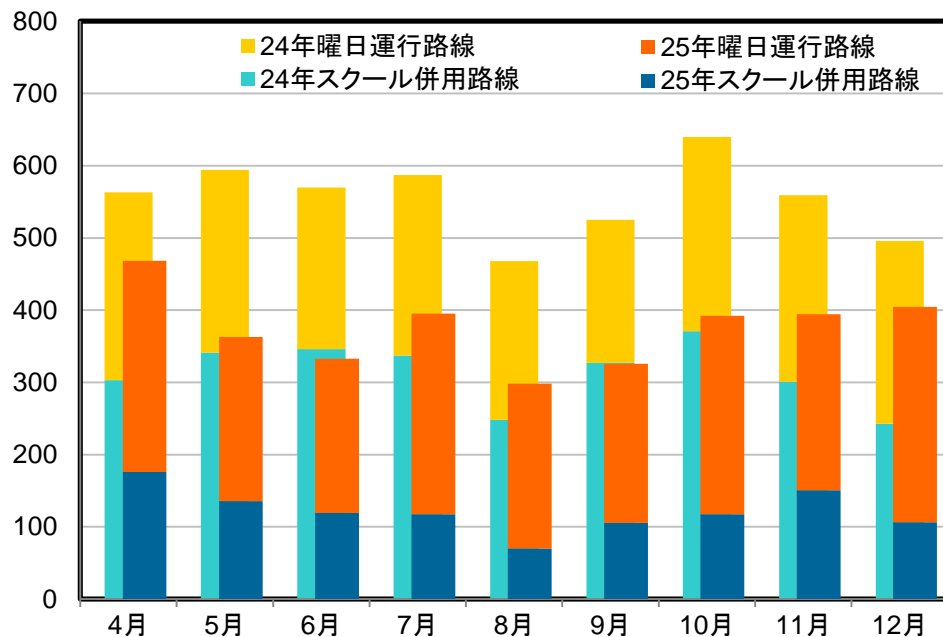
一般利用

- 利用者数は、前年同期比6割減で推移し、回復傾向は見られない。
- スクール併用路線と曜日運行路線の合計利用者数では、前年同月との差がやや縮小してきており、スクール併用路線からふれあいタクシーへの転換が少しずつ進んでいると思われる。

スクール併用路線一般利用者数の推移



生活福祉バス利用者数の推移



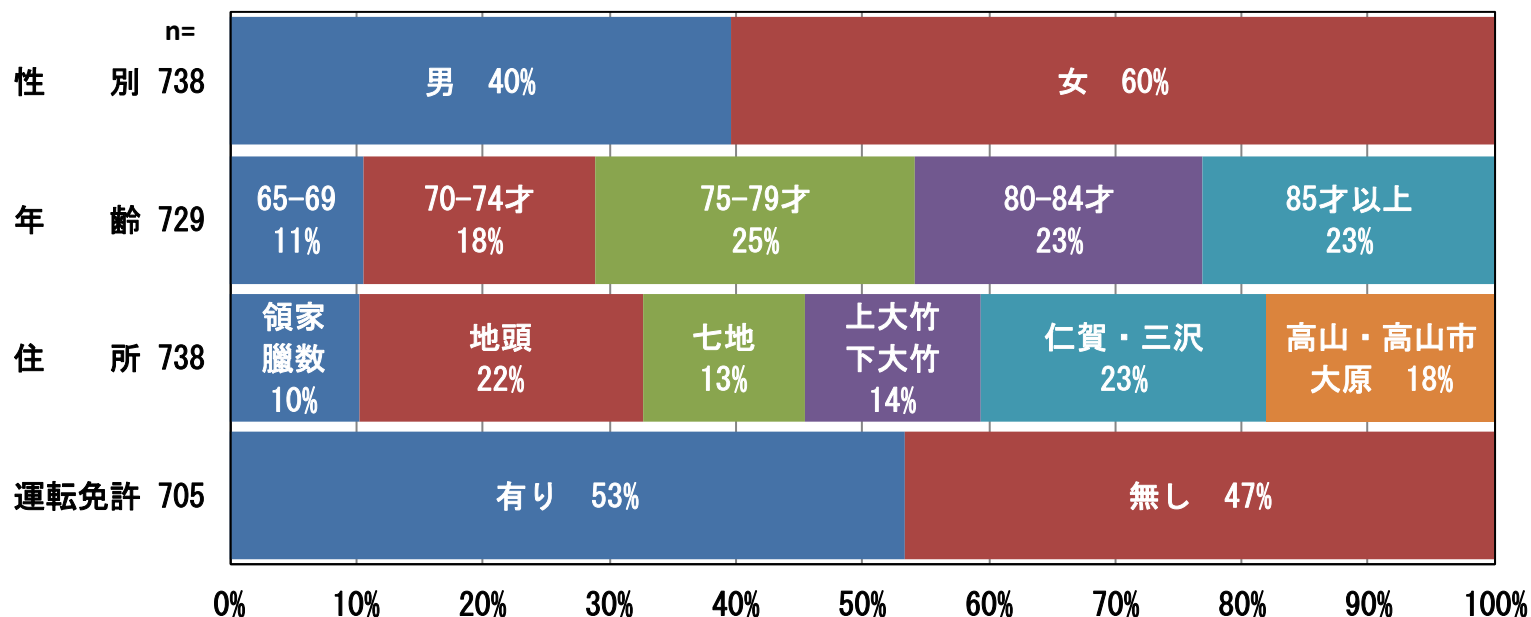
(3) 高齢者世帯の移動手段調査

高齢者世帯の移動手段、ふれあいタクシーの利用実態を把握するとともに、ふれあいタクシーの周知・利用促進活動として、民生委員に依頼して11月に実施。

※調査対象：高齢者世帯を中心に492世帯(高齢者世帯429(うち一人暮らし世帯198)、その他63)738人

調査対象者属性

- 女性が6割を占め、後期高齢者が7割を占める。
- 53%と半数以上が運転免許を保有。

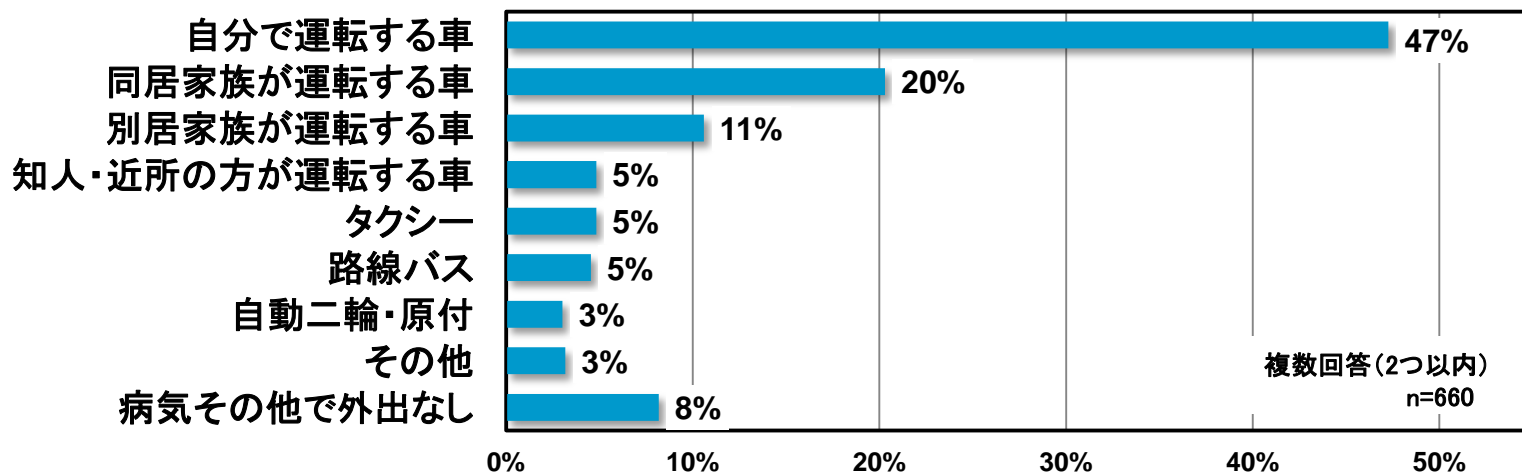


(3) 高齢者世帯の移動手段調査

外出時の主な移動手段

- 回答者の47%が自分で運転する車を挙げ、同居・別居家族や知人・近所方が運転する車などを含め、回答者(病気その他で外出なしを除く)の88%が車を利用。
- 運転免許保有者(病気その他で外出なしを除く)の97%が自分で運転する車・バイクを挙げ、85歳以上も92%が運転。

外出時の主な移動手段



運転免許保有者が外出時の移動手段として自分で運転する車・バイクを挙げる割合

	全体	65-69才	70-74才	75-79才	80-84才	85才以上
回答数	328	52	100	91	60	25
運転割合	97%	100%	95%	99%	97%	92%

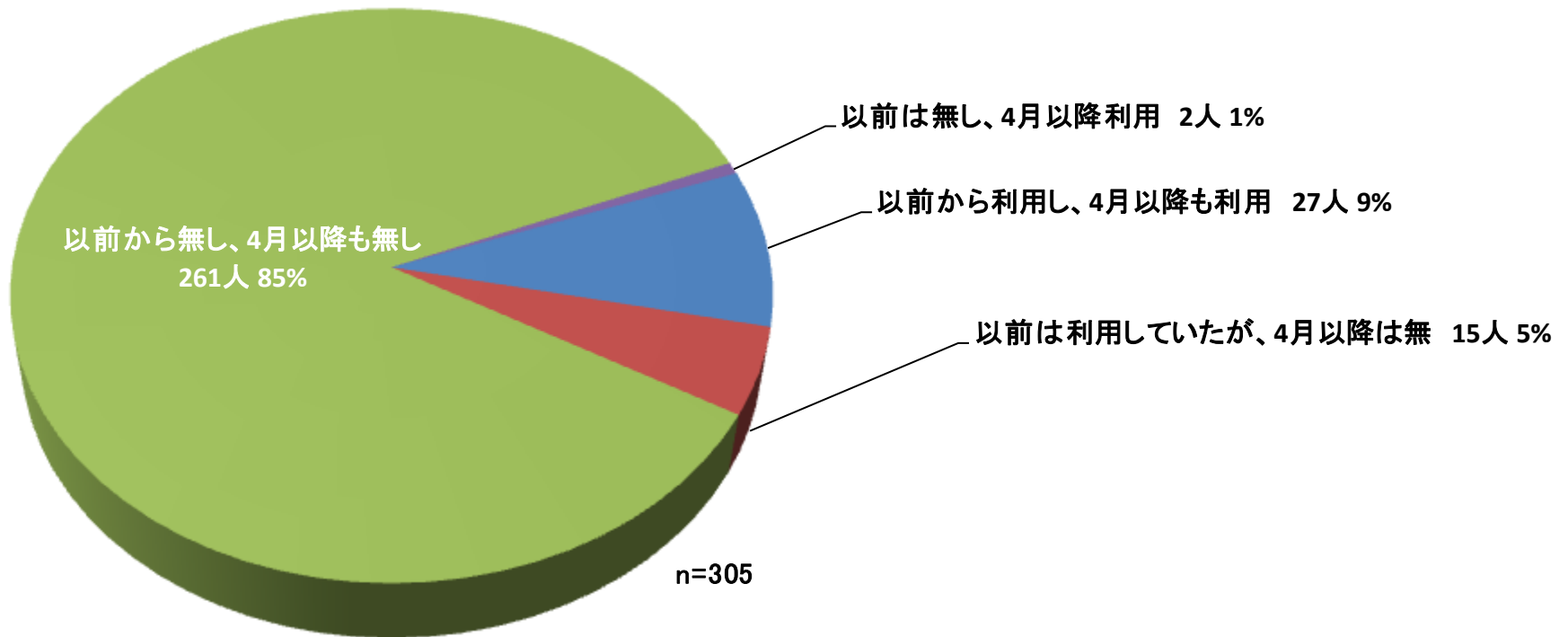
病気その他で外出なしを除く

(3) 高齢者世帯の移動手段調査

スクール併用路線の利用状況

- 回答者の85%が利用なし
- 以前は利用し、4月以降は利用していないとする人は15人で、回答者の5%、以前利用していたとする人(42人)の36%

スクール併用路線の利用状況

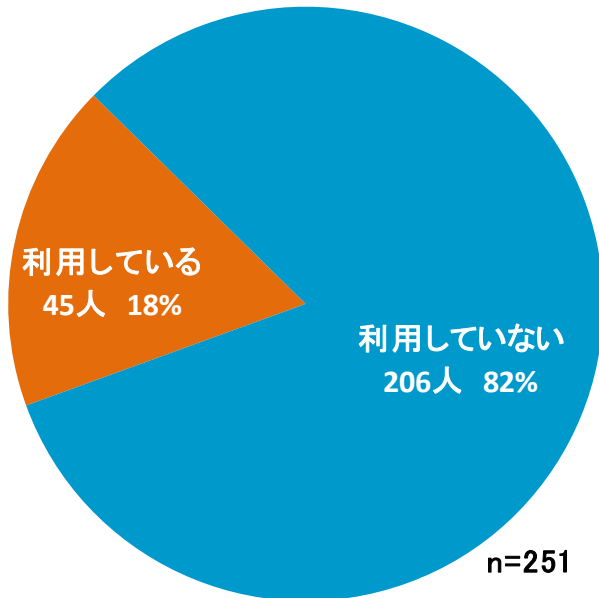


(3) 高齢者世帯の移動手段調査

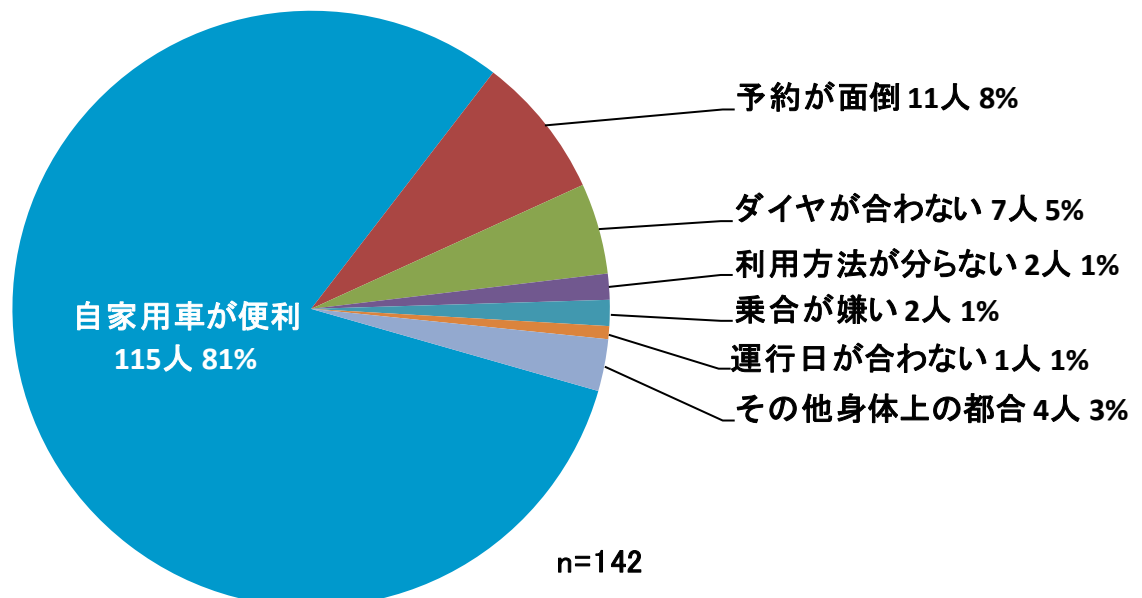
川上ふれあいタクシーの利用状況

- 運転免許がない回答者の18%が利用。
- 利用しない最も大きな理由として、回答者の81%が「自家用車が便利」であるとしている。
- 利用しない理由として、利用方法が分からないとする回答は2人(1%)に止まる。

利用の有無(運転免許非保有者)



利用しない理由(運転免許非保有者)



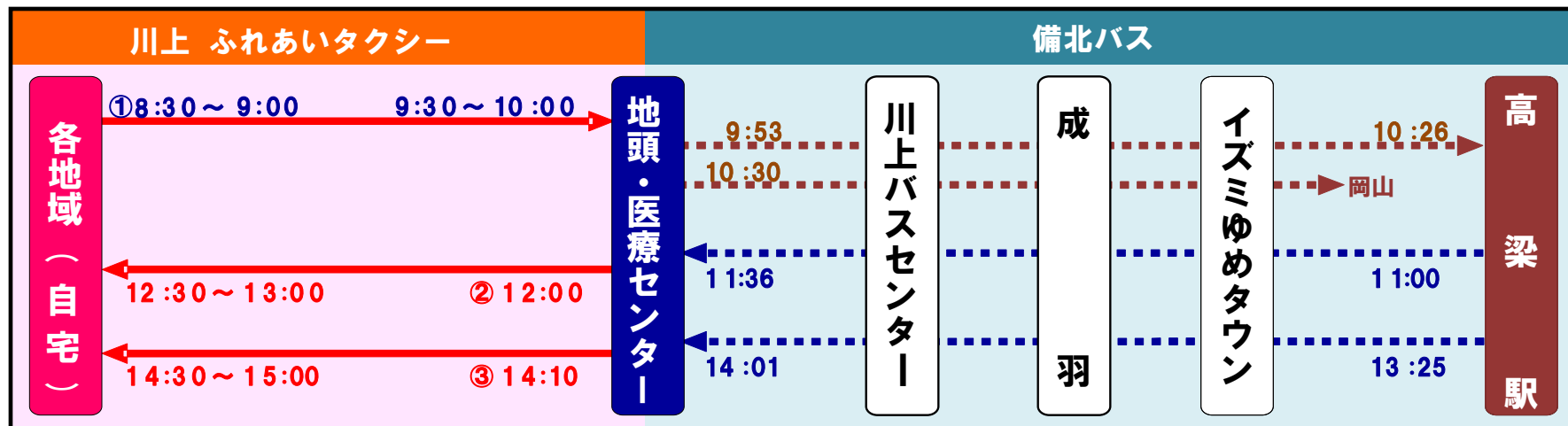
(4) 川上ふれあいタクシー本格運行

- ◆ 平成25年4月からの実証運行の利用状況を踏まえ、平成26年4月から本格運行とする。
- ◆ 本格運行への移行にあたって、更に利用拡大を図るためダイヤを調整する。
※現在、利用がほとんどない帰り第2便については、当分の間、新ダイヤで運行し、その利用状況に大きな改善が見られない場合、更に見直しを行う。

<ダイヤ変更の視点>

- 医療センターの診察その他終了時刻に合わせる(30分ずつ繰り下げ)
- 帰り第2便の利用促進(高梁滞在可能時間の延長(1:50→2:59))

計画ダイヤ (案)

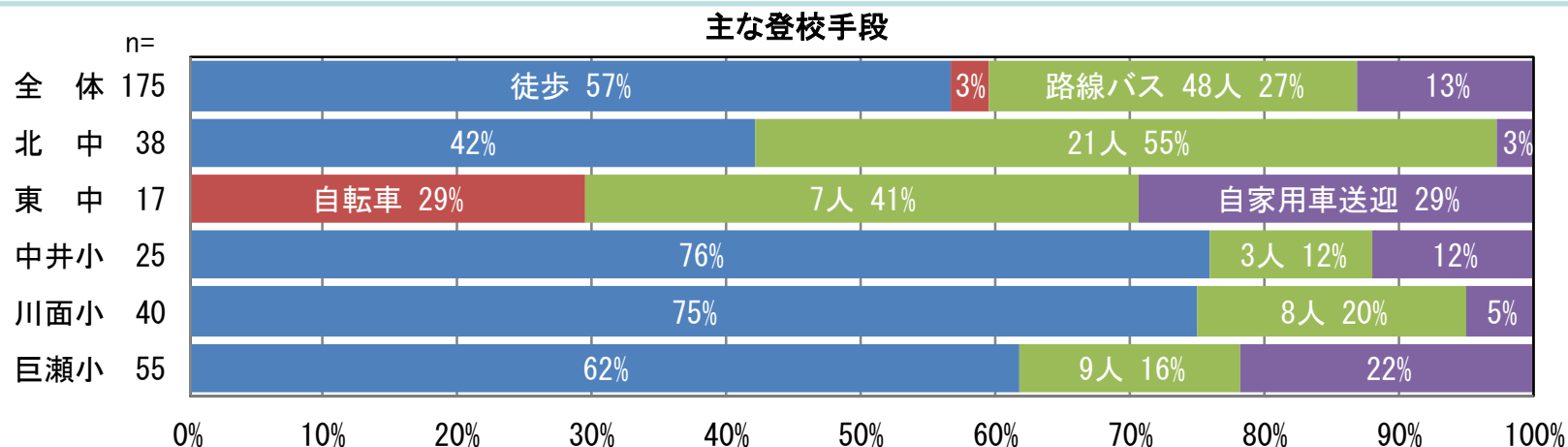


4. 巨瀬・川面・中井地域公共交通再編について

(1) 小中学生の主な通学手段

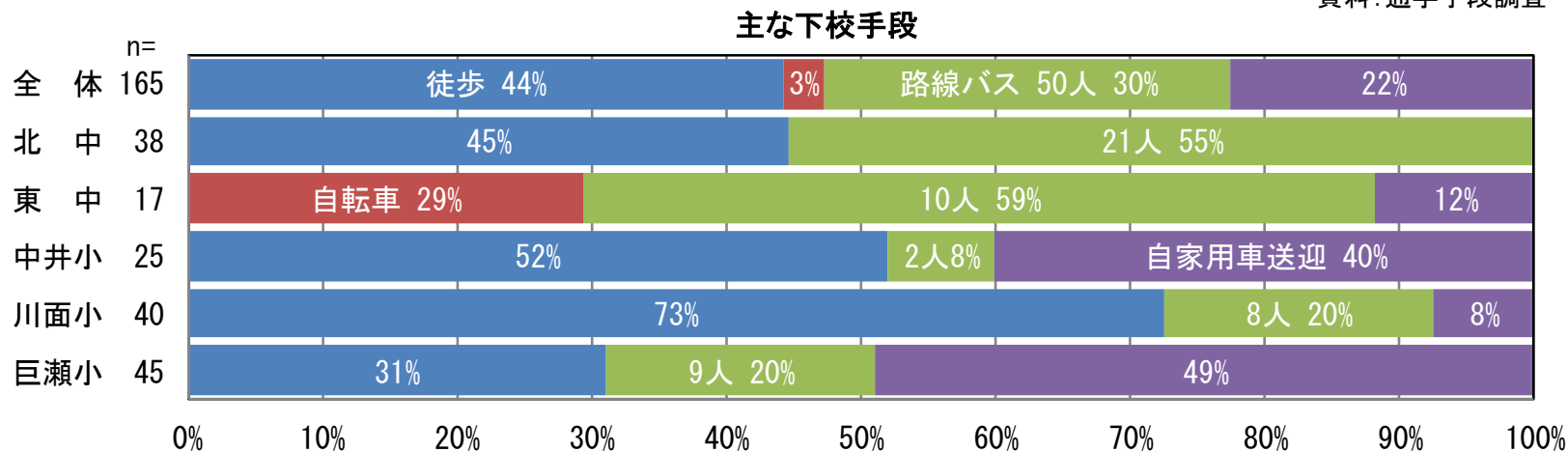
バス通学者

- 巨瀬・川面・中井地域で主に路線バスで登校する小中学生は、登校時48人、下校時50人。



注)設問は択一回答式であったが、巨瀬小は徒歩と自家用車送迎の2重回答が10件と多く、これらを有効回答として集計した。

資料:通学手段調査

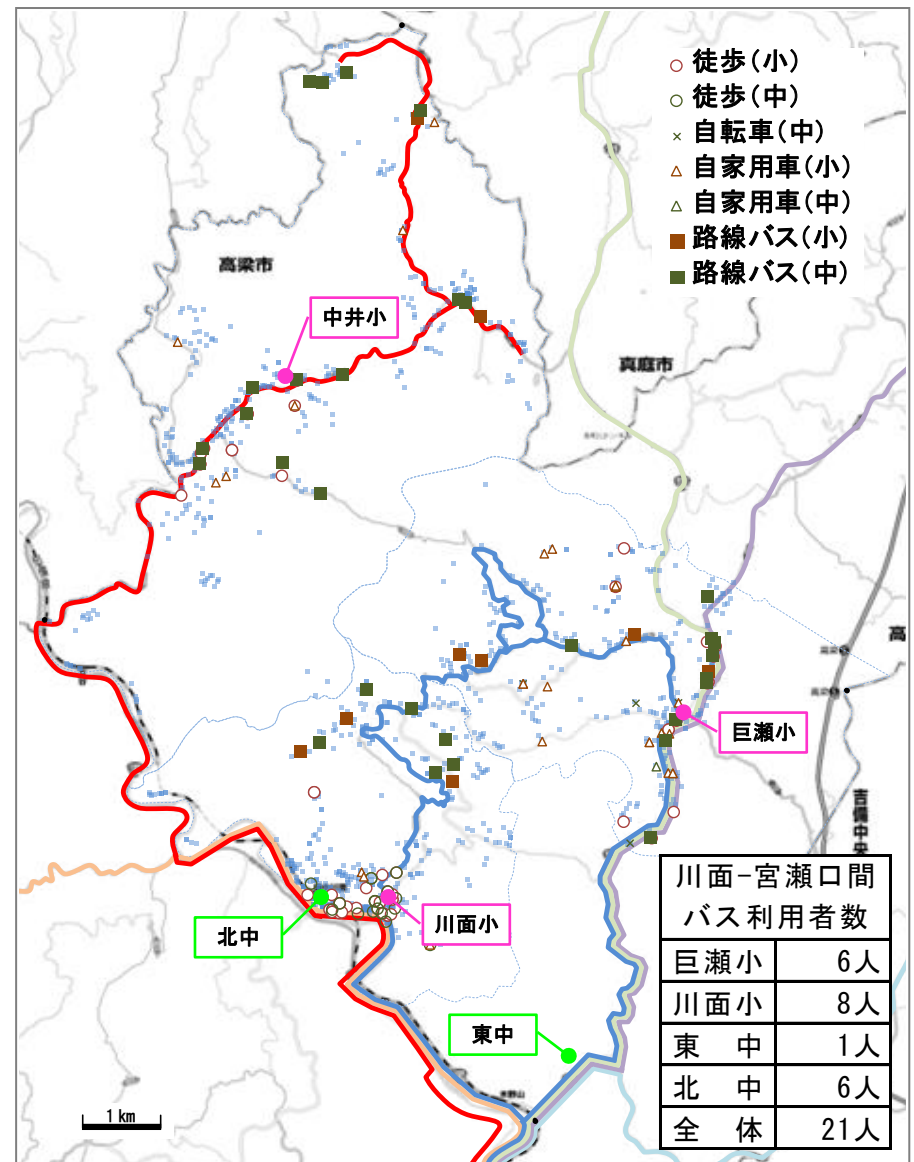
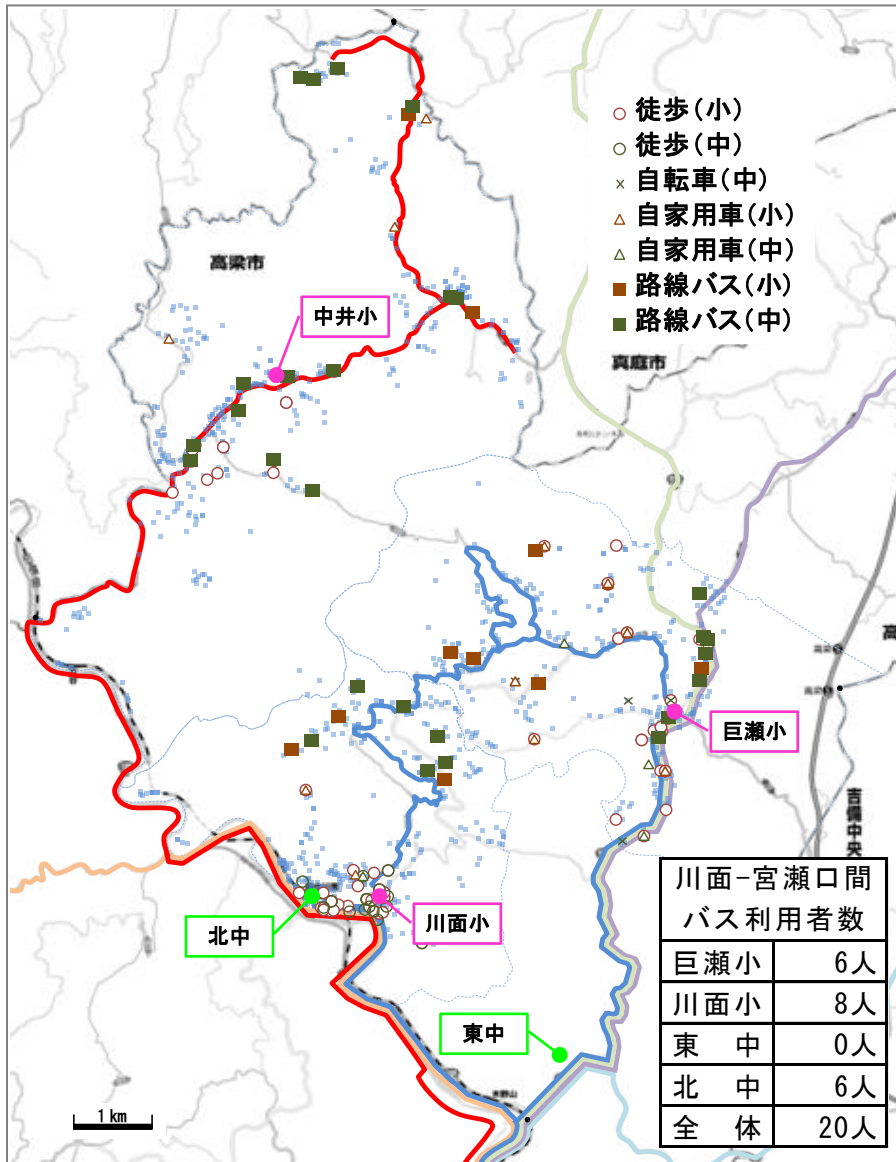


(1) 小中学生の主な通学手段

小中学生世帯分布（通学手段別）

登校時

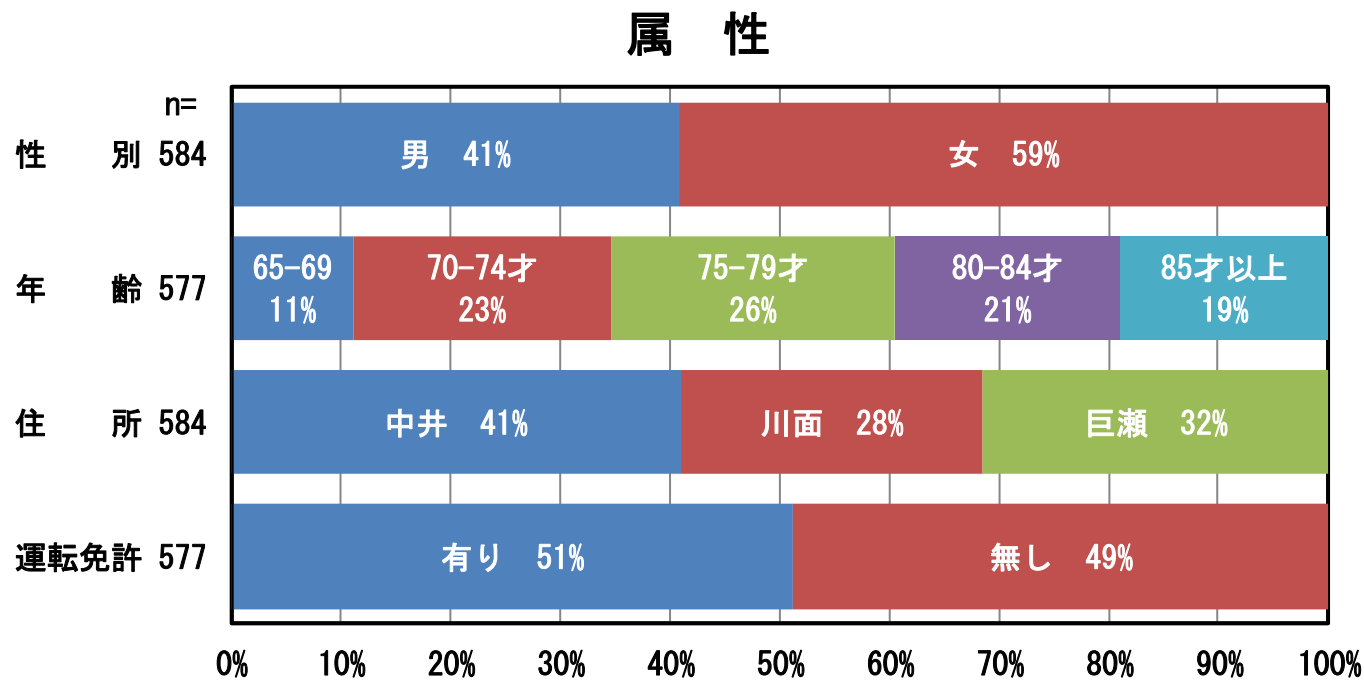
下校時



(2) 高齢者の移動手段

調査対象者属性

- 女性が6割を占め、後期高齢者が65%を占める。
- 半数が運転免許を保有



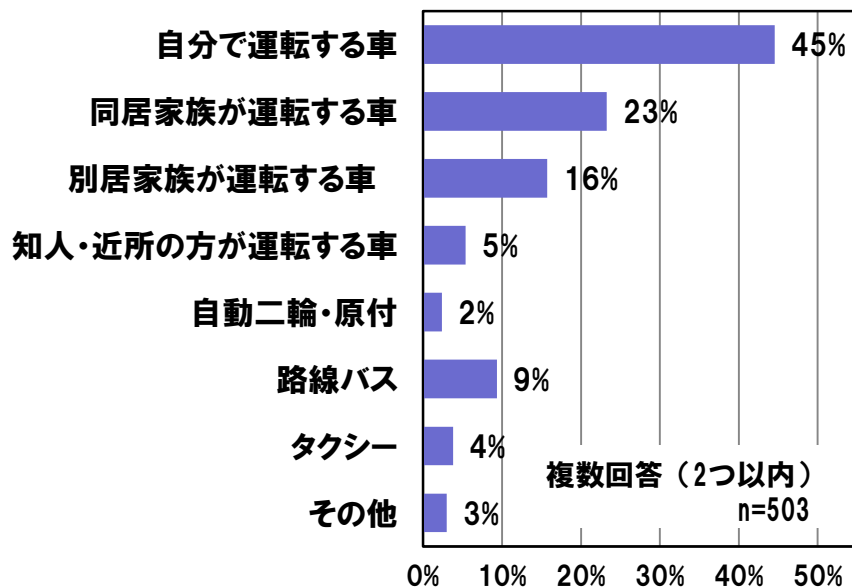
資料: 高齢者世帯移動手段調査

(2) 高齢者の移動手段

外出時の主な移動手段と路線バス利用頻度

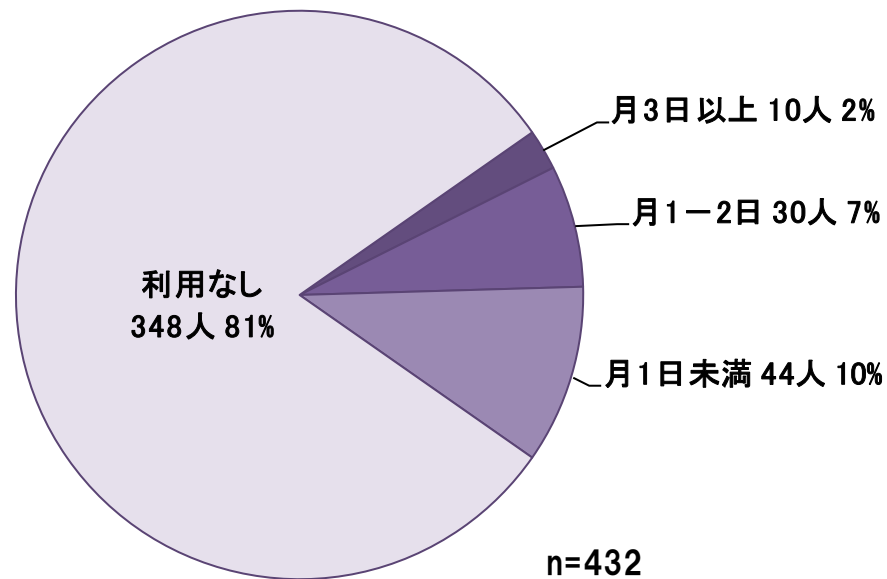
- 回答者の45%が外出時の主な移動手段として自分で運転する車を挙げ、同居・別居家族や知人・近所方が運転する車などを含め、回答者の72%が車を利用。
- 路線バスの利用は、回答者の8割が利用なしとし、月1日以上利用する人は、全体の1割に止まる。

外出時の主な移動手段



資料: 高齢者世帯移動手段調査

路線バスの利用頻度

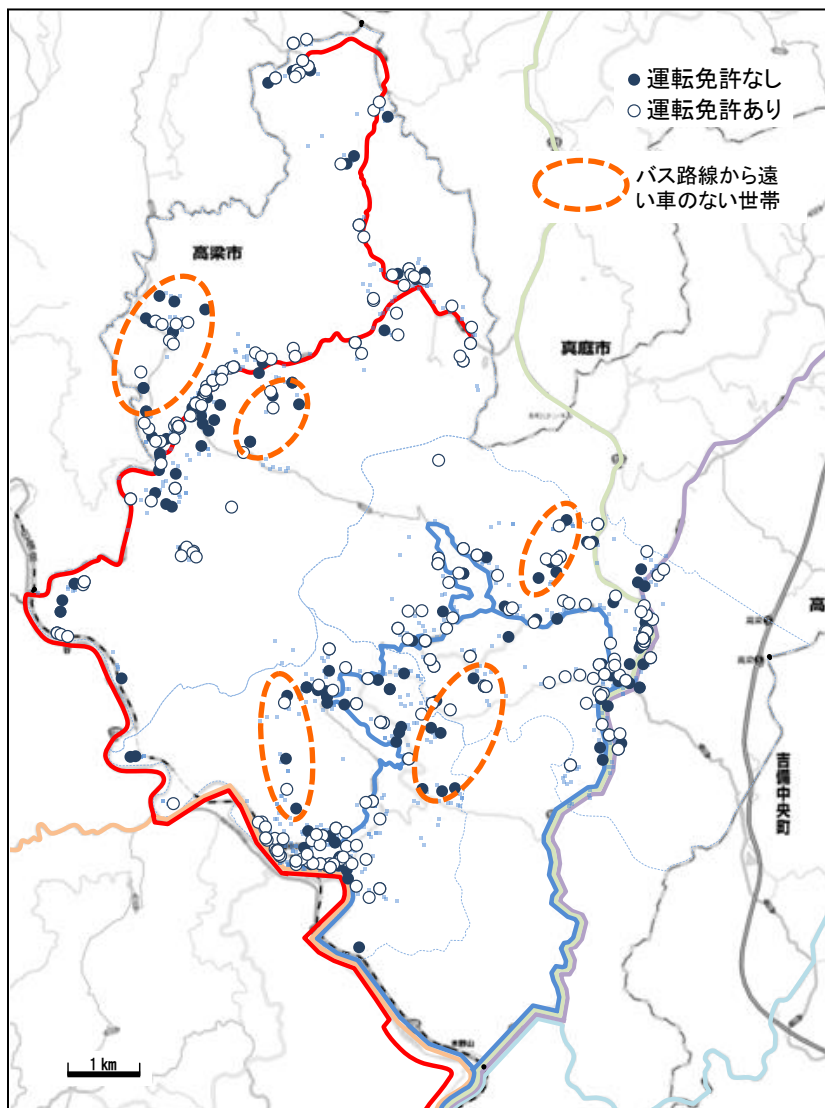


資料: 高齢者世帯移動手段調査

(2) 高齢者の移動手段

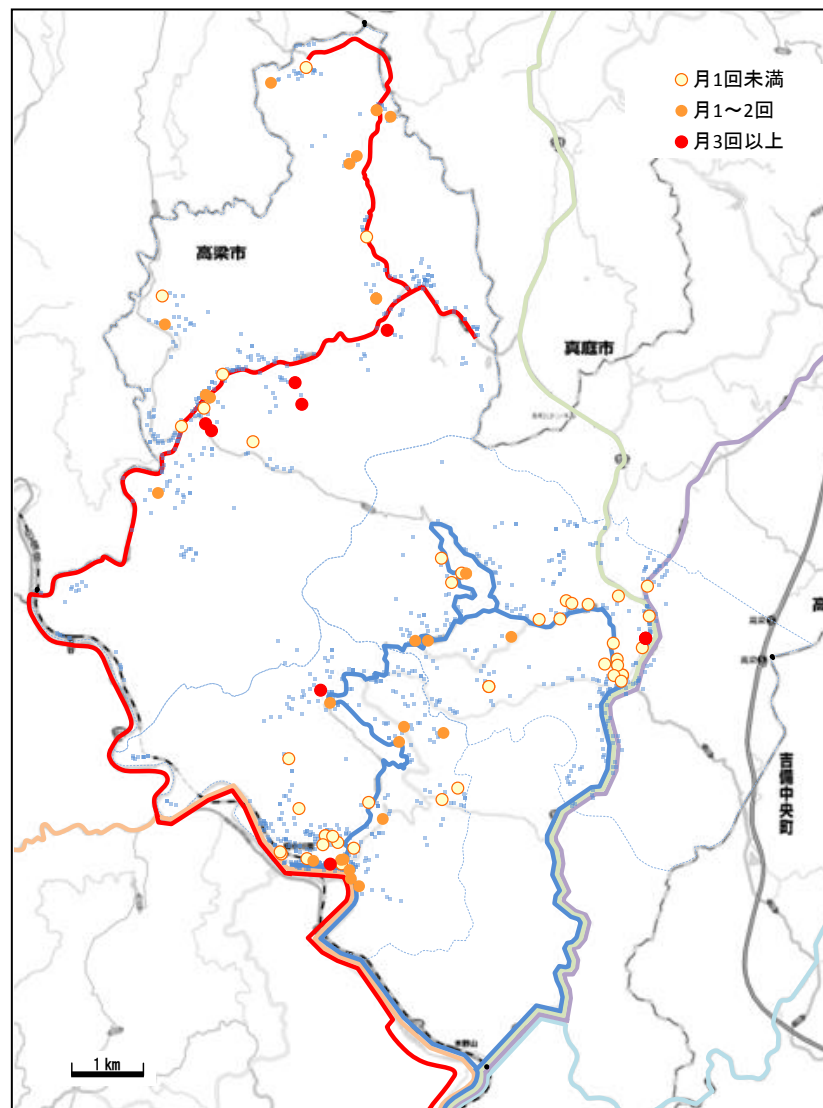
高齢者世帯分布

運転免許の有無



資料: 高齢者世帯移動手段調査

路線バス利用世帯と利用頻度



資料: 高齢者世帯移動手段調査

再編の進め方

◆ 地域住民ニーズの把握(住民説明会・意見交換会・アンケート調査)

路線バス運行事業者との協議



具体的な再編案の作成

【再編案策定にあたっての主な視点】

- ・交通空白地帯の解消(高齢者の外出手段確保)
- ・小中学生の通学配慮
- ・既存のバス路線等の見直し
- ・持続可能な公共交通体系



再編案の提案(次回、公共交通会議(H26.5月予定))

現行路線バス時刻表

山際・追田下・川面駅 ⇄ 高梁バスセンター											
山 際	追 田 下	西 方	川 面 駅	八 長	高 梁 着	高 梁 発	八 長	川 面 駅	西 方	追 田 下	山 際
	6:37	6:45	7:10			12:30	12:37	12:54	13:19	13:27	13:38
7:00	7:11	7:19	7:44	8:01	8:08			16:05	16:30	16:38	
	14:12	14:20	14:45			16:30	16:37	16:54	17:19	17:27	17:38
	17:05	17:13							17:55	18:03	
						18:00	18:07	18:24	18:49	18:57	19:08

川面駅・八石・丸岩・祇園・六名口・宮瀬口 ⇄ 高梁バスセンター											
川 面 駅	丸 岩	祇 園	六 名 口	宮 瀬 口	高 梁 着	高 梁 発	宮 瀬 口	六 名 口	祇 園	丸 岩	川 面 駅
	7:30	7:40	7:44	7:51	8:11		7:12	7:19	-	7:27	7:44
7:50	8:07	-	8:51	8:22	8:42	11:50	12:10	12:17	-	12:25	12:42
14:55	15:12	-	15:20	15:27			15:30	15:37	-	15:45	
	15:45	-	15:53	16:00			16:25	16:32	-	16:40	16:57
17:02	17:19	-	17:27	17:34		17:15	17:35	17:42	17:46	17:56	
							18:16	18:23	18:27	18:37	

5. 26年度事業計画・スケジュール（案）

項 目	25年度							26年度						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高梁市地域公共交通総合連携計画見直し														
地域公共交通の現状整理														
地域公共交通に関する市民アンケートの実施														
既定計画・事業の検証														
連携計画改訂案の検討・計画書作成														
巨瀬・川面・中井地区交通再編														
計画策定														
住民意見交換会														
利用案内・啓発パンフ等作成														
実証運行														
松原地区交通再編														
現況調査・分析														
計画策定														
住民意見交換会														
川上地域交通再編														
実証運行														
本運行														
交通会議														

*計画素案提案